

2024年度日本語・日本文化研修留学生の 修了論文発表会を開催

【概要】

本学日本語・日本文化教育センターは、2024年8月4日（日）、日本語・日本文化研修留学生（以下「日研生」）による修了論文発表会を対面・オンライン併用で開催し、学内外から約40人が参加しました。今年は、タイ、中国、ベトナム、ポーランドから本学に留学している第23期日研生6人が発表を行いました。

日研生は、毎年10月から翌年8月までの約1年間、大使館推薦や大学推薦の国費外国人留学生として、また学術交流協定校からの交換留学生として本学に留学し、主に日本語と日本文化について学び、その集大成として修了論文を執筆します。論文のトピックはそれぞれの留学生が興味のあるものを選び、教員の指導と本学の日本人学生が務める論文チューターのサポートを受けながら論文を完成させます。

第23期日研生も、日本と自国の言語や文化についてそれぞれがユニークな切り口で調査・分析・考察し、力を込めて論文を書き上げました。発表会では、パワーポイントを使用しながら日本語で堂々と発表し、参加者からの質問にも的確に答えていました。また、オンラインでは、日研生の所属校教員や学生、母国の家族も視聴し、温かく有意義な会となりました。

日研生は、8月22日（木）に行われる修了式に出席し、帰国後はそれぞれが所属する大学に復学し勉学に励みます。修了生の中には、本学や他大学の大学院への留学や、日本での就職のため再来日する学生が多数います。成長した修了生との再会を楽しみにしています。

本学は、引き続き多様な国からの留学生を受け入れ、国際交流を推進していきます。

【発表者及び題目（発表順）】

- スアンポーレ タンチャノク（タイ）
「日本人女性の前髪 一種類と印象」
- 栞 凱棋（ラン カイキ・中国）
「皮肉表現の多面性 一皮肉の分類及び日中皮肉の事例比較」
- 尹 婧禕（イン セイイ・中国）
「上野千鶴子ブームから見る中国の女性主義（フェミニズム）」
- グエン ファム トゥー ミン（ベトナム）
「日本とベトナムの水墨画の比較研究」
- 姚 政翼（ヨウ セイヨク・中国）
「「中国製日本語」についての考察
一岐阜大学の中国人日本語学習者を中心に」
- ホイナツカ アリツィア マリア（ポーランド）
「ポーランドにおける日本の小説 一小説選択の傾向」

2024年度日本語・日本文化研修留学生の
修了論文発表会を開催



水墨画についての発表



「中国製日本語」についての発表



ポーランドにおける日本小説の発表



発表会終了後の集合写真